

姉妹提携校「台南女子高級中学」来校

昨年姉妹提携をした台南女子高級中学の旅行団(生徒74名,教員7名)が平成28年5月25日に来校され,2年と3年の総合自然科学科の授業に参加しました。

2年総合自然科学科との実験交流「サイエンス」

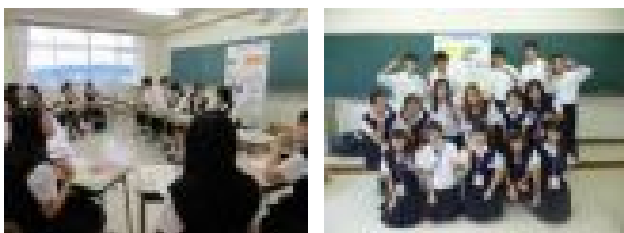
理数化学で学んだ内容「酸化還元反応」を活用し,合金(黄銅)をつくる実験をしました。台湾の生徒たちに作ってもらった赤トンボを,垂鉛めっきで銀トンボにした後,ガスバーナーで熱し,黄銅の金トンボにしました。トンボが銀色から金色に変わると,驚きの歓声がありました。



《生徒感想》 僕は司会を務めましたが,上手くコミュニケーションがとれるかどうか不安でした。しかし,台湾の生徒さんたちは,とても社会的で積極的に話しかけてくれ,無事に大役を終えることができました。8月には台湾海外研修に参加しますが,今回の交流でより楽しみになりました。 2年8組男子生徒

3年総合自然科学コースとの実験交流「サイエンス」

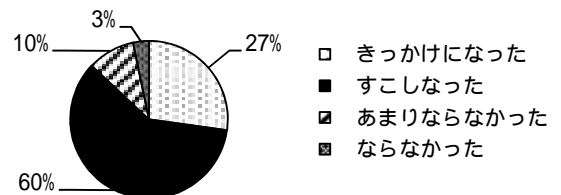
サイエンス で取り組んだ課題研究のポスターセッション(英語)を行いました。聴講者として参加した台湾の生徒たちから様々なアドバイスを頂きました。



サイエンス 特別講義(創立記念講演)

創立記念日に先立ち5月31日に三菱電機株式会社の西山 宏氏(本校30回生)による講演を行いました。人工衛星「ひまわり8号」の開発責任者として培った経験をもとに,人工衛星についてお話しいただきました。ひまわり8号からの映像は,天気予報などで目にすることもあり,多くの生徒が興味を持ち聴講していました。このことは,事後アンケートからも読み取れます。(下表)

Q. 講義を聴いて,人工衛星と私たちの暮らしについて自分で考えるきっかけになりましたか。



《生徒感想》 改めて,人工衛星ひまわりのすごさがわかりました。どれだけの人がこの研究に携わり,努力し,たくさんのお金をかけて成功させたものだという事に驚きました。また,人工衛星の仕組みについて,少し知ることができたので面白かったです。さらに,文系の人も仕事があることに少しビックリしました。 3年1組女子生徒

講演会の後には,西山氏を囲んでのサイエンスカフェを実施しました。将来,宇宙開発に携わってみたい者など,宇宙好きな24名が集まりました。

そこでは,「人工衛星に地球側から命令は,どのようにして行っているのですか。」など様々な質問に答えていただきました。

